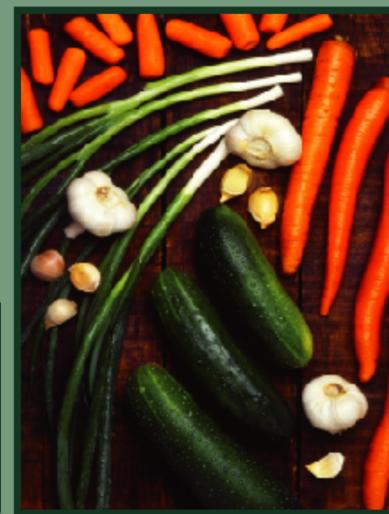


コロラド州農務部



Colorado Department of Agriculture
Markets Division
700 Kipling Street, Suite 4000
Lakewood, Colorado 80215-8000 USA

電話: (303) 239-4114
ファックス: (303) 239-4125
電子メール: markets@ag.state.co.us

www.coloradoagriculture.com

コロラド州の有機農業

コロラド州の農業は、成長を遂げる有機農産物市場においてリーダー的役割を果たしてきた。コロラド州農務部は、農場のための有機認定を企画し施行した最初の州政府機関である。コロラド州はまた有機牛乳、ハーブティー、豆乳及び大豆製品、ナチュラル肉類および有機食品加工といった業種のカテゴリーリーダーの本拠地でもある。コロラドを代表する農場の中には、全米で最大の独立系野菜農場、有機キビや多くの穀類製品などの大手生産者などを含んでいる。コロラド州は、野菜、果物の生産や有機牧草や穀物に関する耕作面積では、全米でトップ5州の中に入っている。

コロラドの冬や乾燥した気候は有機栽培に適している。当州の土壌は毎年冬の凍結によって浄化され、乾燥した気候があるからこそ、灌漑によって土壌水分の直接管理が可能となり、乾燥地に適した作物もできる。

コロラド州はまた、小売業や業界団体サポートグループなどの中心地ともなっている。主要業界誌、トレードショー、宣伝広告企業などがコロラド州に本拠を持っている。

ファーマーズ市場と農場直販

コロラド州全域にわたって開催されるファーマーズ市場において、コロラド州消費者は、農業従事者や彼らが作る果物や野菜に直接接する事が出来る。コロラドのファーマーズ市場は、多くのコミュニティに於いて夏場の中心的な活動になってきている。農場によっては、農場直販制度を設けることによって生産者と消費者を直接的に結びつけている。コロラド農務部は毎年、ファーマーズ市場と農場直販のリストをまとめ、ガイドとして出している。このガイドは印刷物ないしはコロラド農務部のウェブ版でも見られる。www.ag.state.co.us

野菜

コロラドは多品種の野菜を栽培するために恵まれた気候である。4月あたりから種蒔きが始まり、収穫は5月から始まり、最初の霜が降りる時、10月まで収穫は続けられる。

有機野菜は全米だけでなく、拡大を続ける国際市場にも出荷されている。コロラド州の有機農業従事者は、ファーマーズ市場を通じて直接に消費者に商品を買っているだけでなく、全米や世界市場にも販路を広げている。農場の中には輸出市場に特化する形で野菜を栽培している。コロラドのカボチャは日本でよく知られているが、一般のコロラドの消費者はカボチャを認識できる人は少ない。

果物

コロラドの果物生産者は、その他の生産者との差別化を目的として有機栽培に次第に展開をしてきている。コロラドのサクランボは6月の初めから出荷され、桃や梨が8月に続く。リンゴの収穫は8月末から始まり、9月の末まで続く。

穀類

コロラドの穀類生産者は赤い品種の秋蒔き小麦、キビとトウモロコシで知られている。コロラドのキビは世界中に輸出されており、有機ヒマワリも世界に出回っている。

肉類

コロラドの畜産産業は、高まるナチュラルや有機肉類に対する消費者の関心を受けて、積極的に対応をしている。コロラド州は全米の中で有機認定を受けた牧草地を有している。農業従事者や牧場主たちは、肉類に関して他との差別化を高めるために、有機生産を極めて重要視している。

加工食品

コロラド州の加工食品業者は、有機食品加工に関しては、世界でもリーダー的立場にある。コロラドに本拠を置く全米でトップの企業や世界的なブランドとなっている企業も多い。コロラド州の加工工場において、ティー、果汁、大豆食品、酢食品、ソース類やあらゆる種類の缶詰などが生産されている。コロラド州には全米で最大の有機醸造食品企業が本社を構えている。コロラド企業は自社ブランドでの商品生産だけでなく、アメリカ中の企業がコロラドで商品を生産できるように食品加工のOEM生産なども引き受けている。

業界センターやサポート機関

有機食品産業に関していう場合、それは単に農業生産者が有機食品を栽培するとか食品加工メーカーが有機食品をマーケティングするに止まらない。コロラド州は、全米の食品産業の中で急成長を遂げる有機セクターに焦点を当てた全米での有力業界誌、トレードショーイベント企業、広告代理店や市場調査会社が本拠を置くところでもある。

